

2007年3月期 連結決算 及び
2008年3月期 連結業績見通し
説明資料

インフォコム株式会社
2007年5月11日

1 . 2007年3月期 決算

- (1) 連結の範囲及び持分法適用関連会社
- (2) 連結業績
- (3) 株主の状況及び主要経営指標

2 . 2008年3月期 連結業績見通し

- (1) 2007年3月期総括
- (2) 新たな事業推進体制
- (3) 短期計画方針と業績見通し

事業のご紹介

成長を牽引するソリューション
成長を牽引するソリューション
消費者向けビジネスへの取組み
新たな事業への取組み

純国産次世代Web-ERP「GRANDIT」
緊急通報/安否確認システム「エマージェンシーコール」
ネットビジネス事業の展望
フローラインフォーマティックス研究協同組合(LLP)の取組み

インフォコムグループ基礎情報

セグメント構成
会社の概要、社名の由来
連結財務データ5ヵ年(通期)

グループ構成
対外発表Index
沿革、当社グループの通期及び四半期業績の特性

1. 2007年3月期 決算

(1) 連結の範囲及び持分法適用関連会社

	06/3期 (前期)	増	減	07/3期
連結子会社数	10	1	1	10
持分法適用非連結子会社及び関連会社数	0	2	-	2
合計	10	3	1	12

【連結子会社増減の内訳】

ホワイトパジャマジャパン(株)設立(06/7) コンタクトセンターソリューション提供、米国コンタクトチュアル社との合併、以降WPJ社
 (株)ニュース・サービス・センター株式譲渡(06/12) ニュース配信サービス運営、以降NSC社

【持分法適用非連結子会社増減の内訳】

フローラインフォーマティクスLLP設立(06/10) バイオサイエンス事業分野の研究、以降フローラ組合

【持分法適用関連会社増減の内訳】

(株)ドゥマンの第三者割当増資一部引受け(06/11) インターネット上のオンラインショップ運営、以降ドゥマン社

【参考】

(株)インフォコム西日本を存続会社とする(株)インフォコム四国の吸収合併(07/4)
 米国Lighthouse Data Solutions,LLC.の解散及び清算(07/5清算予定、以降LDS社)

前述【参考】を加味したインフォコムグループの構成については、「インフォコムグループ基礎情報」をご参照願います。

1. 2007年3月期 決算

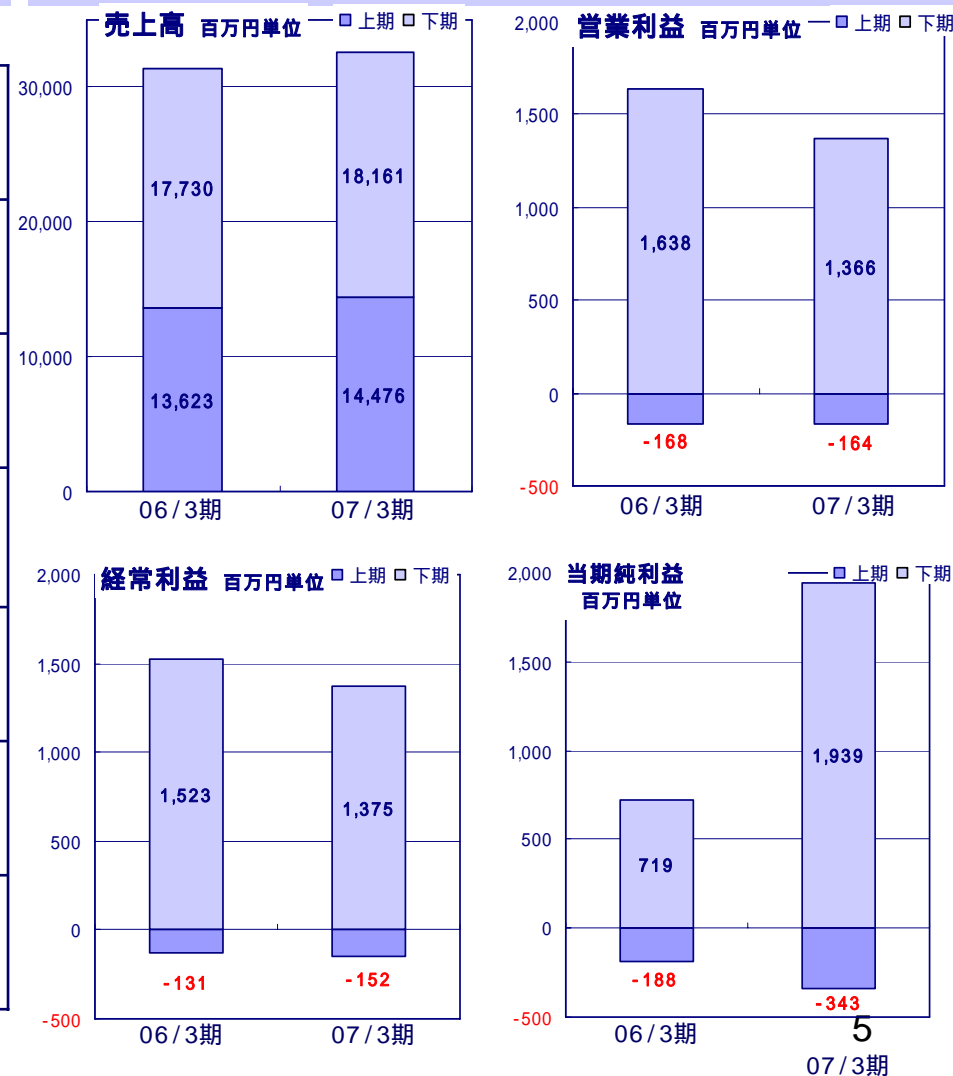
(2) 連結業績 前期との対比による概況

新規連結子会社効果により増収
 特定事業分野における先行的投資等により減益
 敷地、施設の一部収用により当期純利益は増加

利益の計上時期が第4四半期に集中する傾向継続
 中間期は6ヶ月累計で損失を計上

	06/3期 (前期)	07/3期	増減	
			金額	率
売上高	31,353	32,637	1,284	4.1%
営業利益	1,470	1,201	269	18.3%
営業外損益	78	21	99	
経常利益	1,392	1,222	169	12.2%
特別損益	291	1,325	1,616	
当期純利益	531	1,596	1,064	200.2%

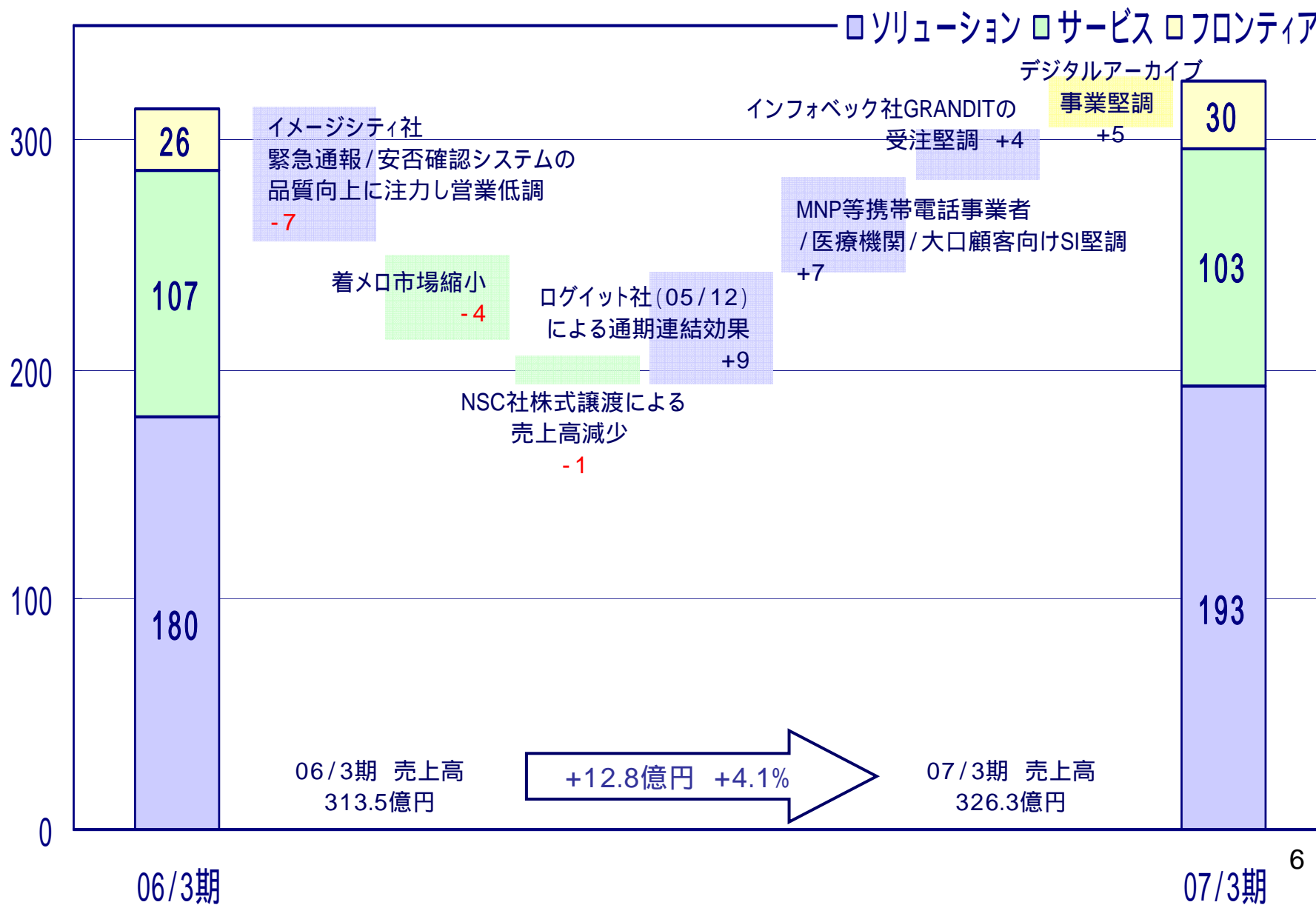
百万円単位



1. 2007年3月期 決算

(2) 連結業績 前期との対比による売上高と営業利益の概況

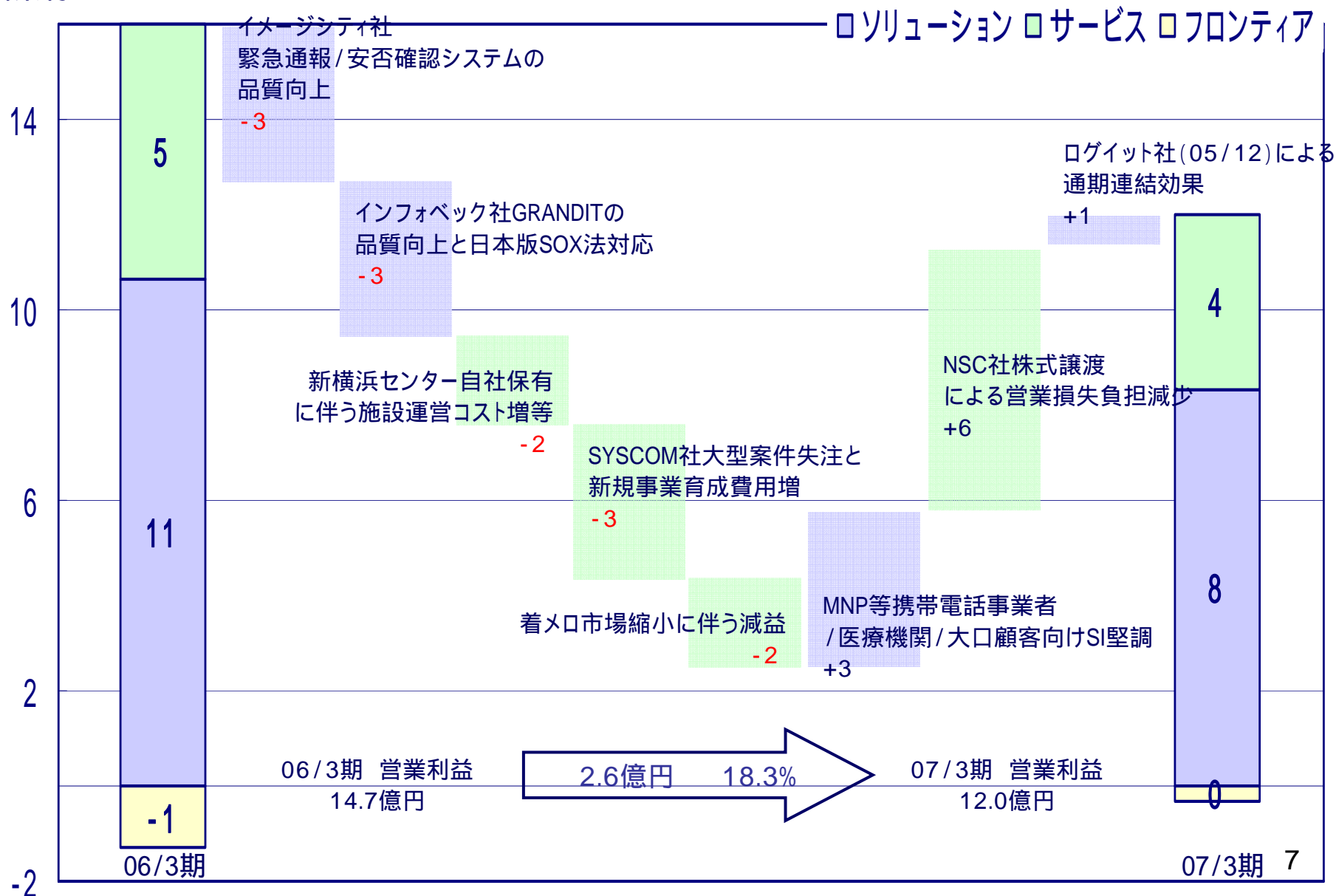
売上高 億円単位



1. 2007年3月期 決算

(2) 連結業績 前期との対比による売上高と営業利益の概況

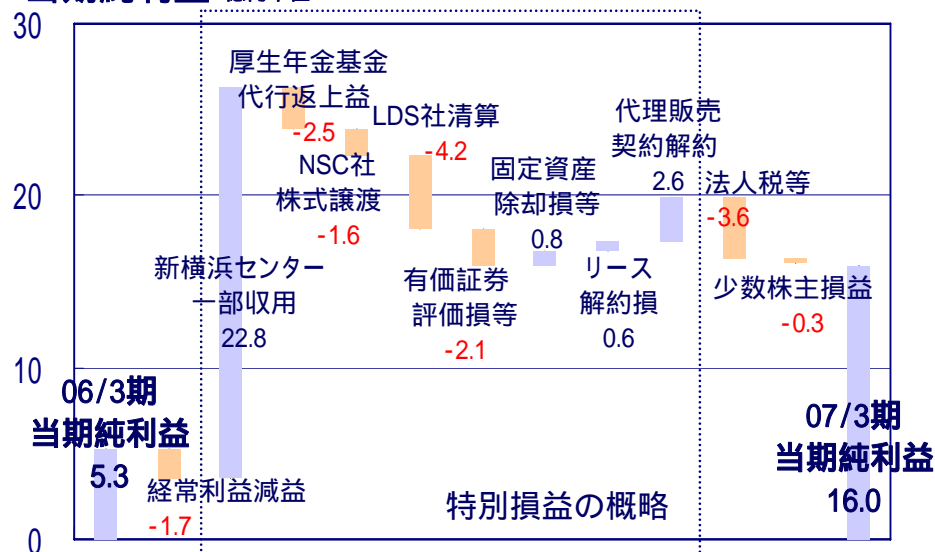
営業利益 億円単位



1. 2007年3月期 決算

(2) 連結業績 前期との対比による当期純利益の概況 及び 構造

当期純利益 億円単位



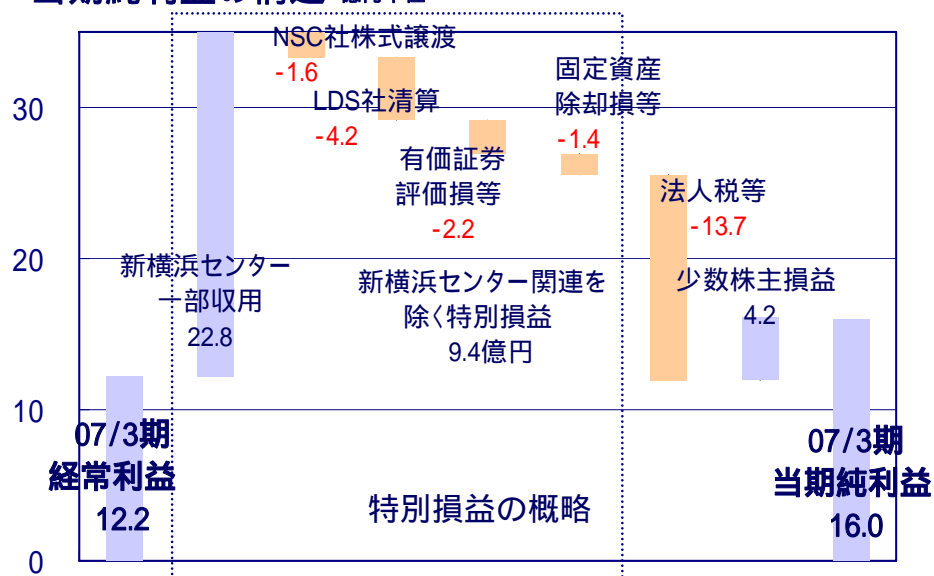
主たる増加要因

1. 新横浜センターの一部敷地及び建物の収用(06/12)
2. 固定資産除却損の減少
3. 前期に発現したNSC社関連事業の代理販売契約解約料

主たる減少要因

1. 経常利益の減少
2. 前期に発現した厚生年金基金代行返上益
3. 関係会社株式関連 Ex.NSC社株式譲渡(06/12)
Ex.LDS社解散及び清算(07/3)
4. 当社グループ保有株式の有価証券評価

当期純利益の構造 億円単位



特別利益の概況

1. 新横浜センターの一部敷地及び建物の収用(06/12)

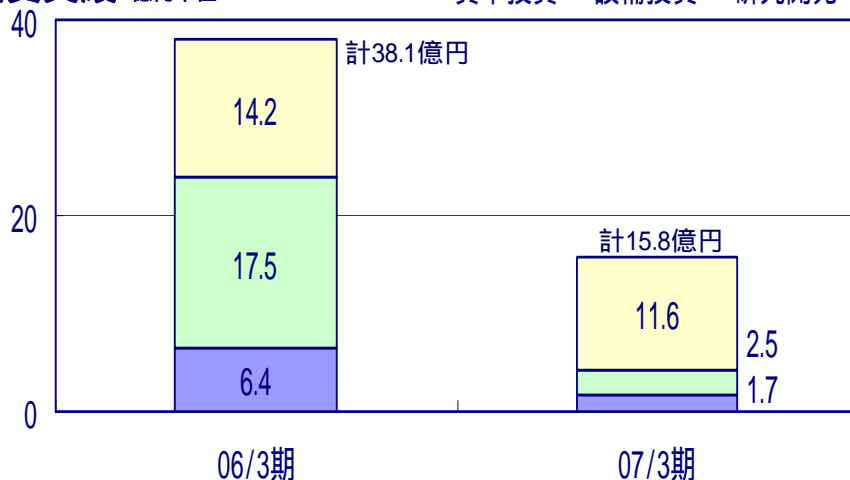
特別損失の概況

1. 関係会社株式関連 Ex.NSC社株式譲渡(06/12)
Ex.LDS社解散及び清算(07/3)
2. 当社グループ保有株式の有価証券評価

1. 2007年3月期 決算

(2) 連結業績 投資実績

投資実績 億円単位



06/3期の概況

資本投資の概況

1. ログイット社、SYSCOM社、旧コンピュータシティ社への出資等約6.0億円実施

設備投資の概況

1. 新横浜データセンターの自社保有15.0億円

研究開発の概況

- | | |
|----------------|-------|
| 1. EMCバージョンアップ | 3.3億円 |
| 2. GRANDIT機能強化 | 4.3億円 |
| 3. 産学協同研究 | 0.7億円 |

資本投資の概況

1. ドゥマン社第三者割当増資の一部引受け(06/10開示)
54百万円
2. イメージシティ社Earn Out Schemeの実行(05/2開示)
100百万円
3. フローラ組合設立(06/10開示)
20百万円

設備投資の概況

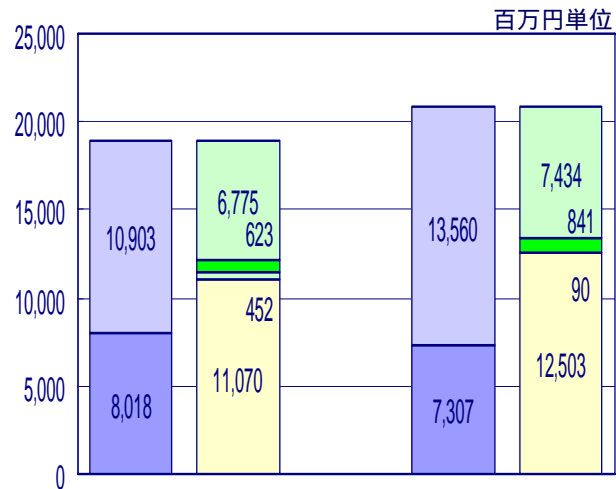
1. 新横浜データセンターのセキュリティレベルの強化 (セキュリティゲートシステム導入) 0.5億円
2. 同取得に伴う固定資産税負担の資産への組み入れ 0.5億円
3. 他(関西地区オフィス移転、本社LAN環境整備等) 0.5億円

研究開発の概況

1. 緊急通報 / 安否確認システムの機能強化 4.0億円
2. ERPパッケージソフトウェア「GRANDIT」の機能強化 3.6億円
3. コンサートチケット等販売システムの更新 0.6億円
4. ECMパッケージソフトウェアの機能強化 0.3億円
Enterprise Contents Managementの略
日本版SOX法、内部統制機能の強化に対応する企業内デジタルコンテンツ管理ソリューション

1. 2007年3月期 決算

(2) 連結業績 貸借対照表



百万円単位

	06/3期末	07/3期末
流動資産	10,903	13,560
固定資産	8,018	7,307
資産計	18,922	20,868
流動負債	6,775	7,434
固定負債	623	841
負債計	7,398	8,275
少数株主持分	452	90
純資産-少数株主持分	11,070	12,503
自己資本比率	58.5%	59.9%

前期末との主たる増減要因

新横浜データセンター一部敷地・建物の収用による増減

【流動資産 現金及び預金】

+1,607 07/3期末迄に入金済みの収用補償金等

【流動資産 未収入金】

+784 収用補償金の未収入に相当

【固定資産 長期未収入金】

+1,056 収用補償金の長期未収入に相当

【固定資産 有形固定資産】

664 収用に伴う一部敷地・建物の売却による減少

事業展開による増減

【流動資産 売掛金】

+415 当社グループの増収による

【流動負債 買掛金】

+544 事業展開に伴う仕入れ増

のれん及び投資有価証券の評価による増減

【固定資産 のれん】

394 NSC社株式譲渡に伴う減少

317 通常の償却

【固定資産 その他株式】

248 当社規定に基づく投資有価証券評価損等による

1. 2007年3月期 決算

(2) 連結業績 キャッシュフロー

百万円単位

	06/3期 (前期)	07/3期	増減
営業キャッシュフロー	495	1,679	1,184
投資キャッシュフロー	3,503	188	3,692
フリーキャッシュフロー	3,008	1,868	4,876
財務キャッシュフロー	629	263	365

現金及び現金同等物 に係わる換算差額等	29	2	27
現金及び現金同等物 の増減額	3,608	1,607	5,215
現金及び現金同等物 の期首残高	4,951	1,343	3,608
現金及び現金同等物 の期末残高	1,343	2,950	1,607

億円単位で記載

営業キャッシュフロー

- ・税引前当期純利益25.4(経常利益12.2+特別損益13.2)
- ・減価償却/のれん償却の算出上の調整12.0
- ・その他算出上の調整 13.2
- ・債権債務の増加±0(債権 5.1、債務5.7)
- ・棚卸資産の減少0.5
- ・法人税等の支払い減少 11.2

投資キャッシュフロー

- ・収用補償金の収入(11.5)、NSC社株式譲渡による収入(4.1)が、設備投資の支出(12.6)や資本投資(1.7)の支出を上回り、投資キャッシュフローはプラス

フリーキャッシュフロー

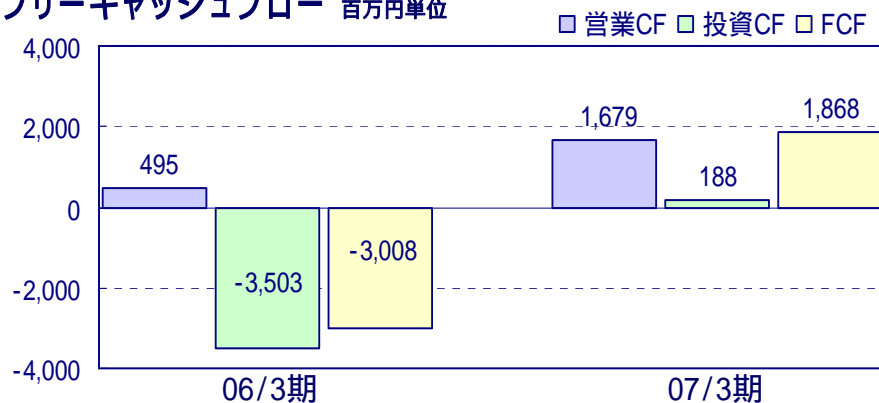
- ・伴いフリーキャッシュフローは増加(+18.6)

財務キャッシュフロー

- ・子会社の外部借入金の返済(1.5)と配当金(1.7)

キャッシュ期末残高は、増加(前期比+16.0)

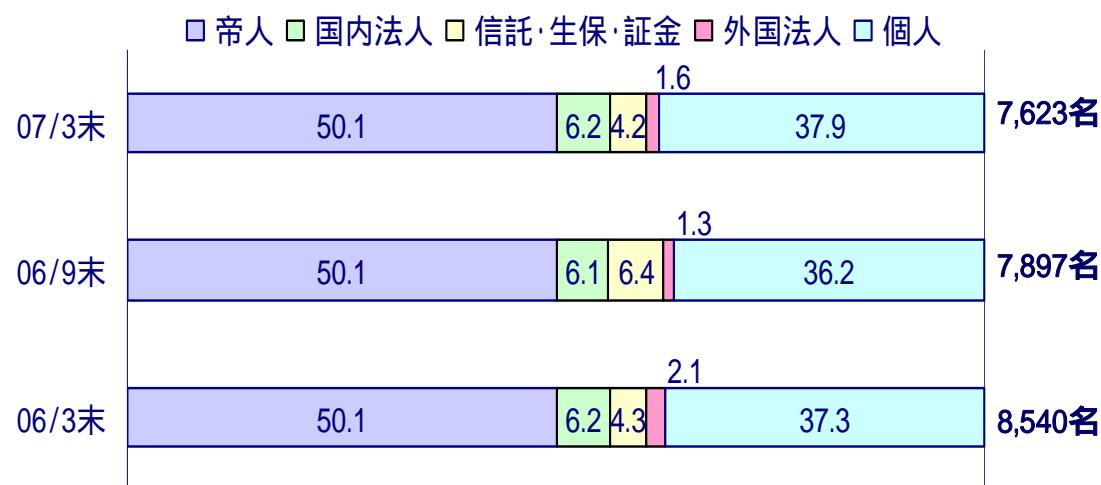
フリーキャッシュフロー 百万円単位



1. 2007年3月期 決算

(3) 株主の状況及び主要経営指標

株主の状況 %、株主人数表記



関連する会社による保有状況

帝人株式会社	72,200株	50.13%
双日株式会社	7,200株	5.00%

主要連結経営指標

	03/3期	04/3期	05/3期	06/3期	07/3期
売上高成長率 (%)	4.9	3.9	3.0	5.0	4.1
営業利益率 (%)	8.7	9.0	6.8	4.7	3.7
一人当たり売上高 (百万円)	40	40	36	28	29
一人当たり営業利益 (百万円)	3	3	2	1	1
株主資本当期純利益率 (ROE) (%)	20.5	17.9	9.3	4.9	13.5
総資本当期純利益率 (ROA) (%)	10.4	9.7	5.2	2.8	8.0
総資本営業利益率 (ROA) (%)	18.3	17.7	12.0	7.8	6.0
1株あたり当期純利益 (円) (04/3期72,000株、以降144,000株)	21,697	22,450	6,585	3,635	11,084
配当性向 (%)	9.2	9.8	18.2	33.0	14.4

2006年3月期より音楽コンサートチケット等の販売に関わる売上計上基準を、販売方針の転換に伴い、「取扱高」から「販売手数料」に変更しています。当資料では、2006年3月期以降の売上計上基準を使用し、各種数値を算出しています。

2008年3月期
連結業績見通し

2. 2008年3月期 連結業績見通し
 (1) 2007年3月期 総括

位置付け	2008年3月期を最終年度とする3ヵ年経営計画の中間年度(2005年6月公表)
実績総括	成長を牽引するとした事業計画の遅延に伴う見直し GRANDIT、携帯電話ポータル、フロンティア 事業リスクの顕在化 情報セキュリティ、品質

連結業績 億円、%	06/3期	07/3期	08/3期 (3ヵ年計画)
売上高	313	326	500
経常利益	14	12	50
売上高成長率	5.0%	4.1%	15%以上
経常利益率	4.4%	3.7%	10%以上
R O E	4.9%	13.5%	20%以上

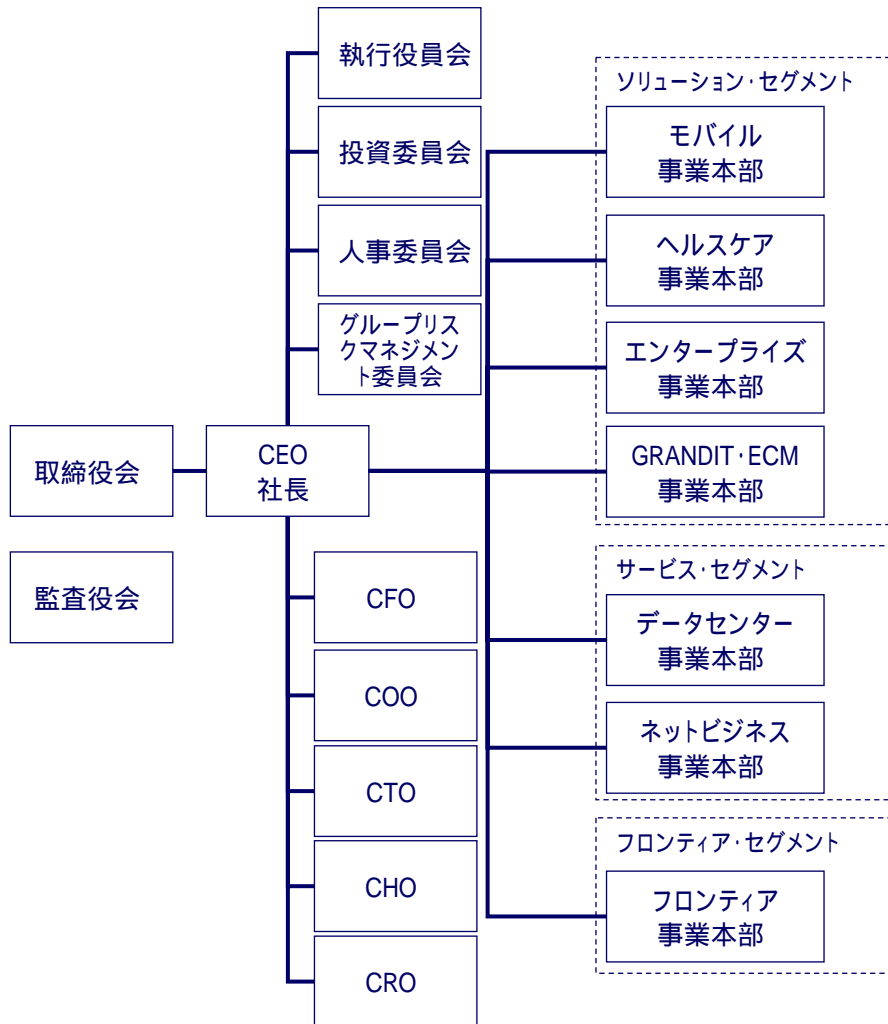
**3ヵ年経営計画達成へ向けた
基本戦略の見直しを行う**

**既存事業ポートフォリオの見直し
 成長戦略を牽引する事業と事業基盤再
 構築を行う事業を設定し、個別事業戦
 略を策定する**

包括的業務提携の検討

次期3ヵ年経営計画の検討

2. 2008年3月期 連結業績見通し (2) 新たな事業推進体制



組織改正のポイント(2007年4月1日付)

COO設置(ソリューション・セグメント管掌)、CGO廃止

ヘルスケア事業本部に改称
ライフサイエンス本部をヘルスケア事業本部とし対象とする市場を明確化

ECM事業部をGRANDIT・ECM本部に再編
GRANDIT本部とエンタープライズ事業本部で展開していたECM事業部を一般企業向けビジネスパッケージを主体としたソリューション事業の拡大を加速するために統合し、開発及び営業を強化

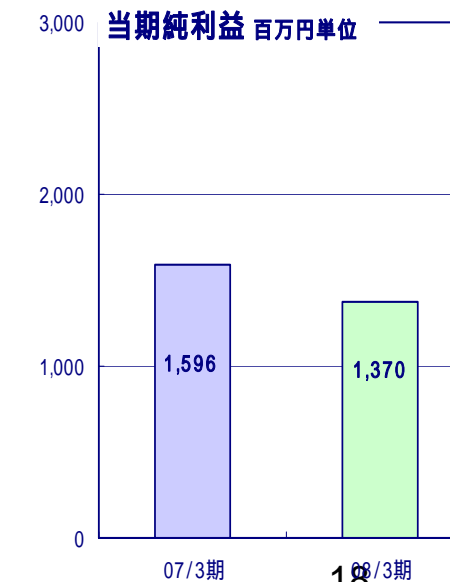
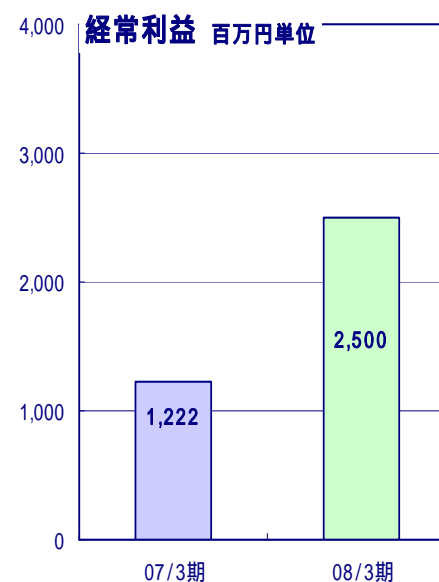
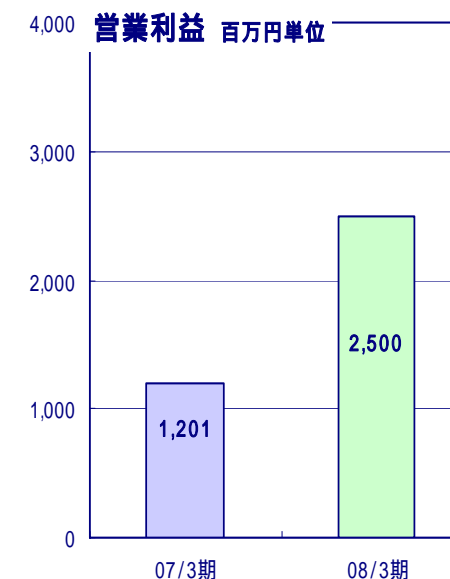
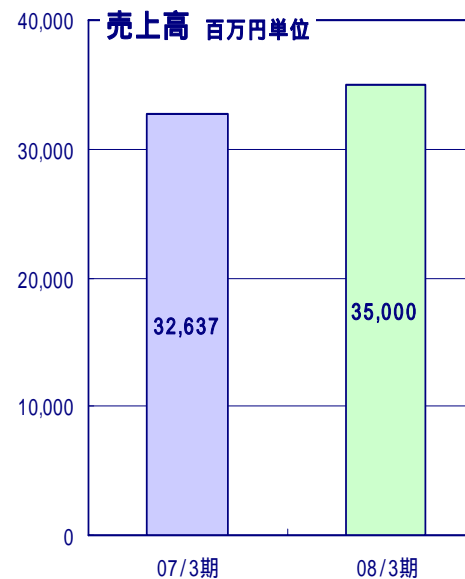
ネットビジネス事業本部の新設
モバイル事業本部より旧インフォコムス部を分離し、一般消費者向けサービス事業としての独自性を高める

2. 2008年3月期 連結業績見通し (3) 短期計画方針と業績見通し

百万円単位

	07/3期	08/3期	増減	
			金額	率
売上高	32,637	35,000	2,363	7.2%
営業利益	1,201	2,500	1,299	108.1%
経常利益	1,222	2,500	1,278	104.5%
特別損益	1,325	-	-	-
当期純利益	1,596	1,370	226	14.2%

売上高成長率 (前期対比)	4.1%	7.2%
ROE	13.5%	10.4%
ROA (当期純利益使用)	8.0%	6.5%
ROA (営業利益使用)	6.0%	11.8%



2. 2008年3月期 連結業績見通し

(3) 短期計画方針と業績見通し

百万円単位

	07/3期	08/3期	増減	
			金額	率
売上高	32,637	35,000	2,363	7.2%
営業利益	1,201	2,500	1,299	108.1%
経常利益	1,222	2,500	1,278	104.5%
特別損益	1,325	-	-	-
当期純利益	1,596	1,370	226	14.2%

売上高成長率 (前期対比)	4.1%	7.2%
ROE	13.5%	10.4%
ROA (当期純利益使用)	8.0%	6.5%
ROA (営業利益使用)	6.0%	11.8%

2008年3月期 短期計画方針

1. 3ヵ年経営計画「新成長事業を中核とした成長戦略」の変更

(1) 成長を牽引する事業

GRANDIT・ECM、ヘルスケア、データセンター

(2) 再構築を行う事業

モバイル、ネットビジネス、フロンティア

2. 事業基盤の再構築

(1) 製品、SI、サービスの品質管理体制の見直し

(2) コンプライアンス体制の維持・強化

(3) グループ会社の経営体制強化

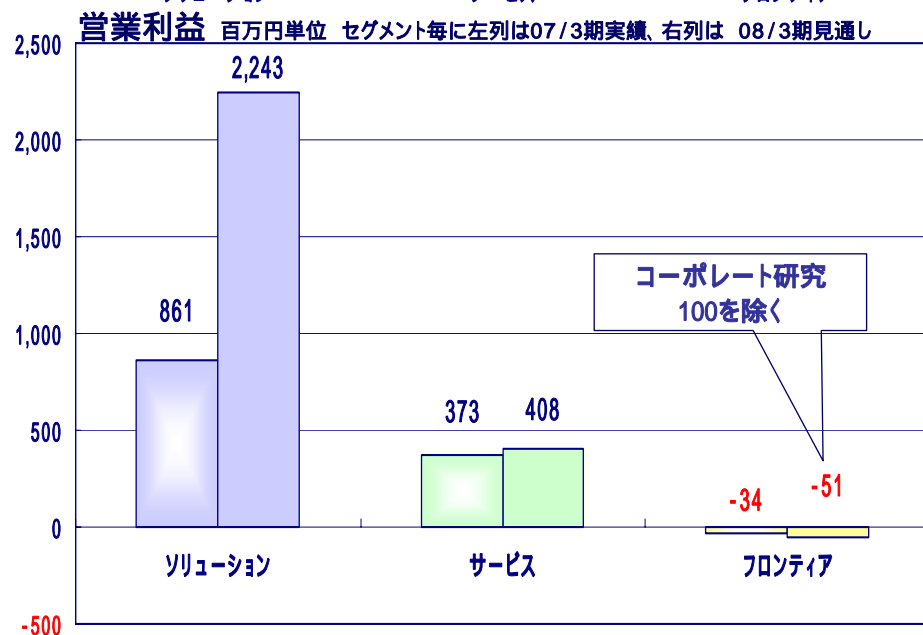
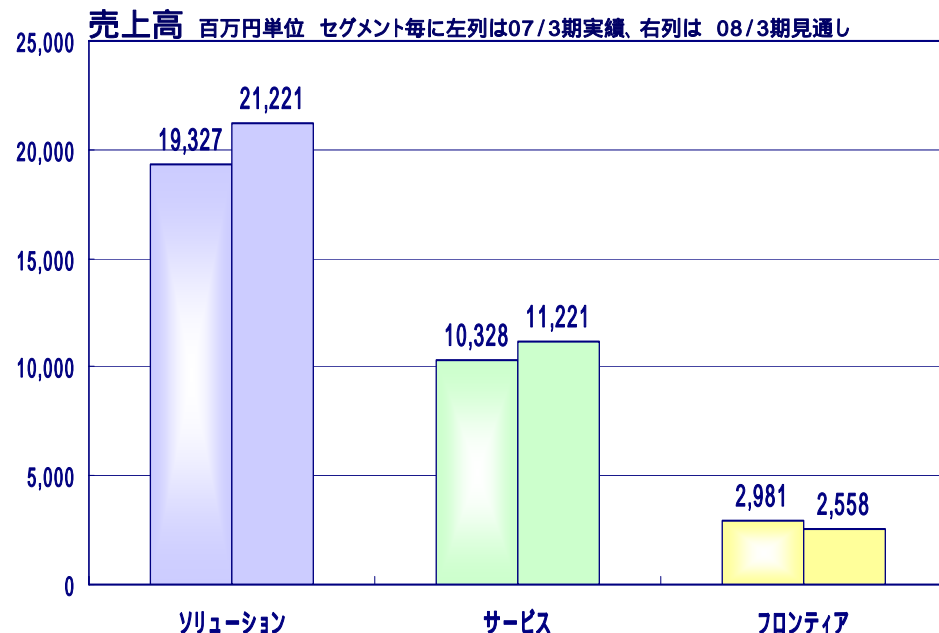
イメージシティ社、SYSCOM(USA)、インフォベック社

3. 飛躍的成長

(1) 包括的業務提携の検討

2005年6月に公表した3ヵ年経営計画「新成長事業」は、GRANDIT、携帯電話ポータル、フロンティア

2. 2008年3月期 連結業績見通し (3) 短期計画方針と業績見通し



ソリューション・セグメント

- (1) 成長を牽引する事業への経営資源の傾斜投入
ヘルスケア事業
事業規模の大幅拡大 (M & A 等別途検討)
GRANDIT・ECM事業
製品、SIの開発・品質管理体制の充実
マーケティング強化
- (2) 収益性改善
プロジェクト管理の強化を通じ、収益性改善を図る

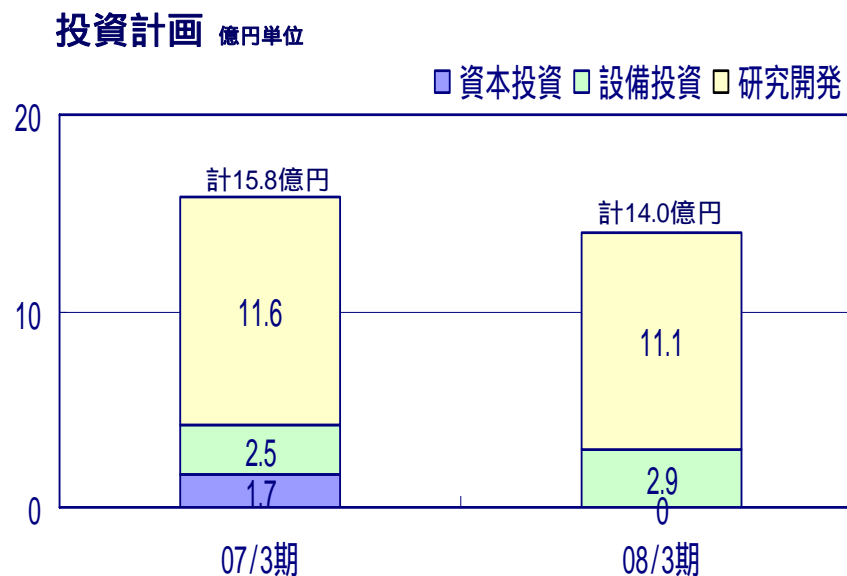
サービス・セグメント

- (1) データセンター事業の大幅拡大
稼働率50% (ブレイクイーブン) の達成
営業力強化、新横浜センター機能強化投資
- (2) ネットビジネス事業戦略の再構築
モバイルに分野を限定しない新サービス企画

フロンティア・セグメント

- (1) 個別事業毎の将来ビジョン構築

2. 2008年3月期 連結業績見通し (3) 短期計画方針と業績見通し 投資計画



設備投資の概況

1. GRANDITの自社導入
1.7億円
2. 新横浜データセンターの設備投資
0.5億円
3. 他(内部統制監査、情報保護/セキュリティ強化等)
0.7億円

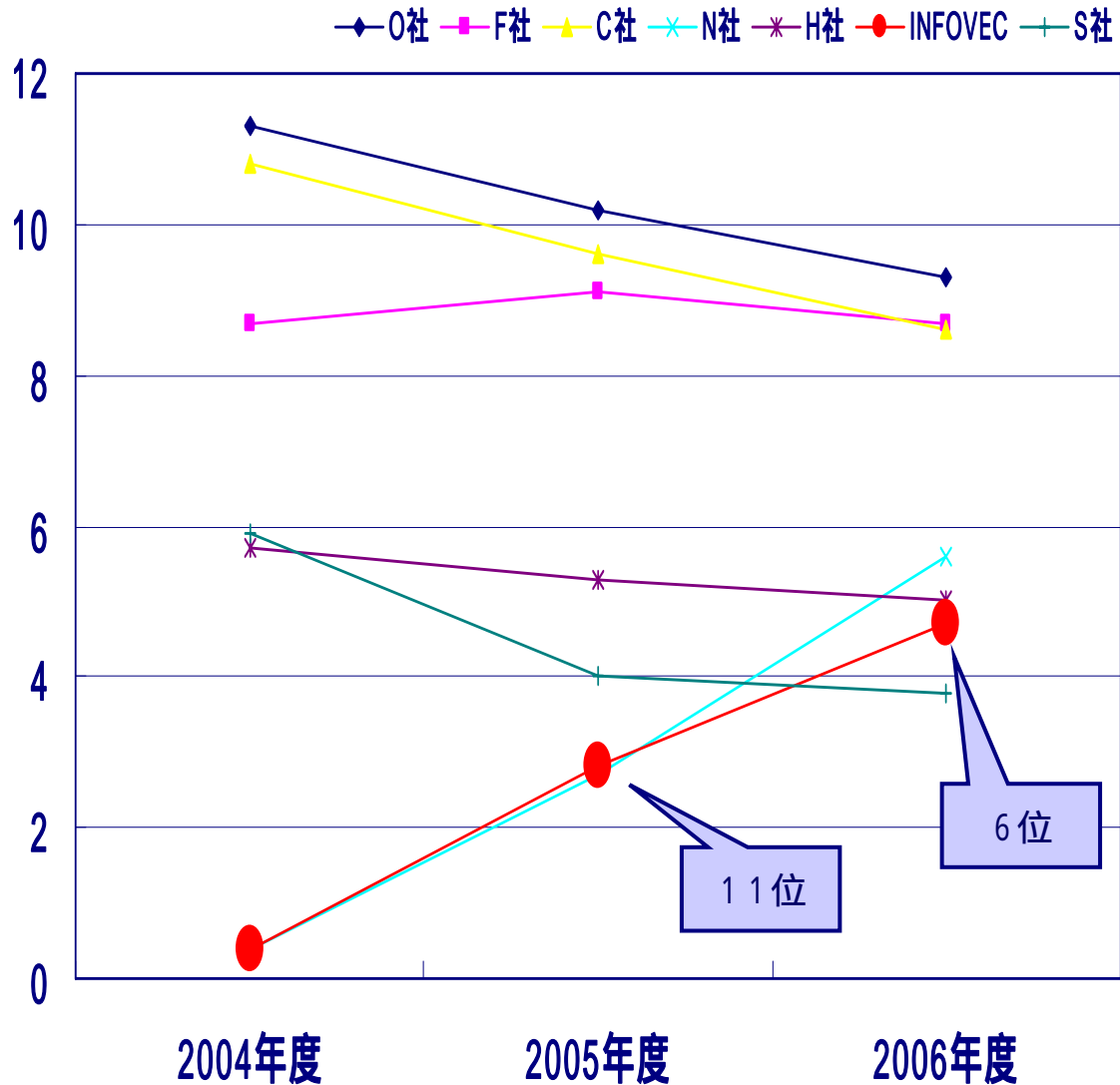
研究開発の概況

1. 当社グループが展開するパッケージソフトウェアの機能強化
「GRANDIT」「ヘルスケア事業関連」「ECM関連」「緊急通報/安否確認システム」等

事業のご紹介

中堅企業向けパッケージ市場シェア動向 (%)

「UNIX・Windows対応基幹業務パッケージソフトの市場展望」(2006年度版、2007年度版 株式会社ミック経済研究所)



GRANDIT

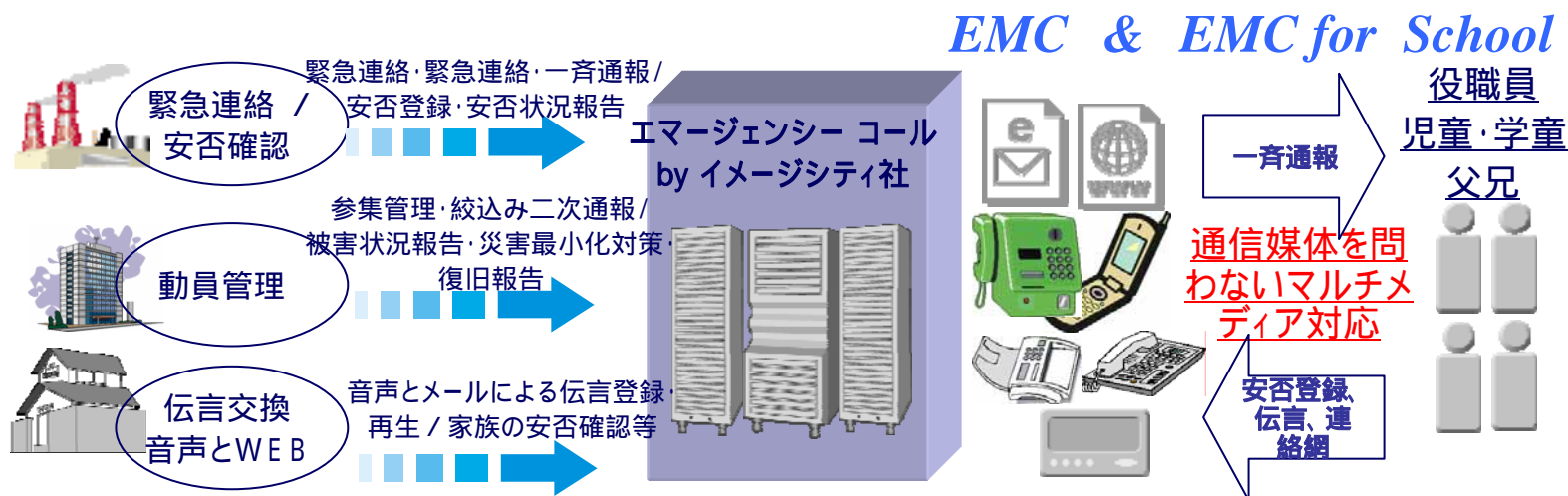
Webベースで作成した中堅・大企業向けERP
 会計、販売、製造、給与等の基幹業務機能
 ECやEDI、BI、ワークフロー等の周辺機能も統合
 内部統制への対応も実装
 日本の業務、商習慣に合致した実用的で使える機能

市場動向

- 市場は年率10%程度の成長を持続
- ・上位企業がシェア下落傾向
- ・GRANDITは着実に成長
- ・SAP、MSが2007年度に本格参入

GRANDITのアドバンテージに変化は無い

多数の日本企業によるコンソーシアムで開発
 次世代アーキテクチャー(完全Web対応)
 内部統制への対応も実装



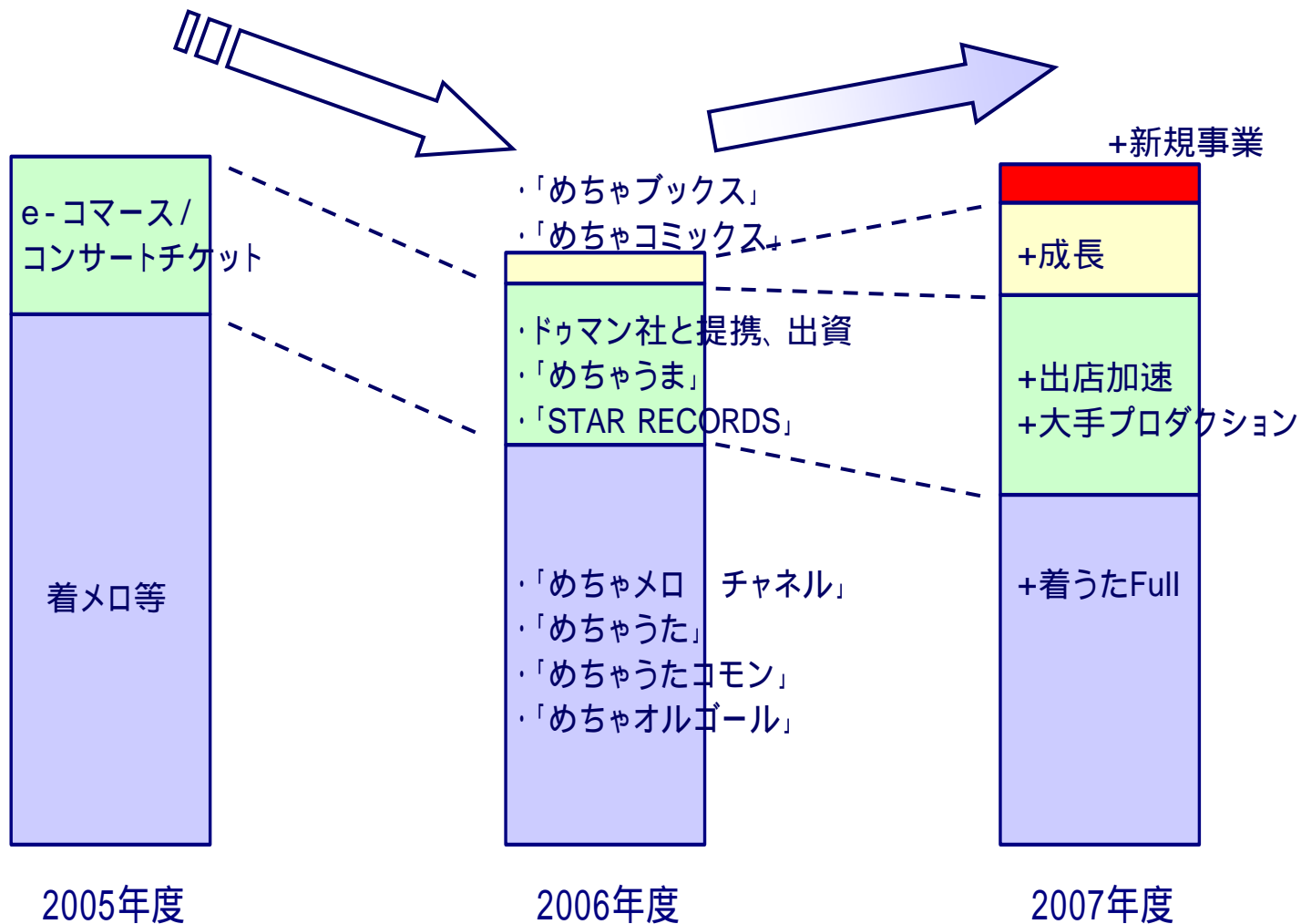
業界	従業員5,000人以上の企業数 (納入実績)
農業、林業、漁業 鉱業、建設業	16社(2社) (例:大成建設、三菱地所設計)
製造業	264社(16社) (例:トヨタ、オリンパス、NEC、帝人・・・)
電気・ガス・熱供給・水道業	12社(5社) (例:東京ガス、中部電力、大阪ガス、北海道ガス)
情報通信業	11社(4社) (例:KDDI、野村総合研究所、NTT東日本、NTT西日本)
運輸業	31社(3社) (例:日本航空、全日空、小田急電鉄)

業界	従業員5,000人以上の企業数及び公共・文教 (納入実績)
卸売・小売業・商社	29社(5社) (例:イオン、伊勢丹、双日)
金融・保険業	22社(6社) (例:第一生命、損保ジャパン、T&D)
サービス業、その他	20社(4社) (例:大日本印刷、朝日新聞、NHK)
公共	例:原子力開発機構、国土交通省、兵庫県庁、都庁
文教	私立小学校16校 (例:慶應・早稲田実業・立教女子・雙葉)

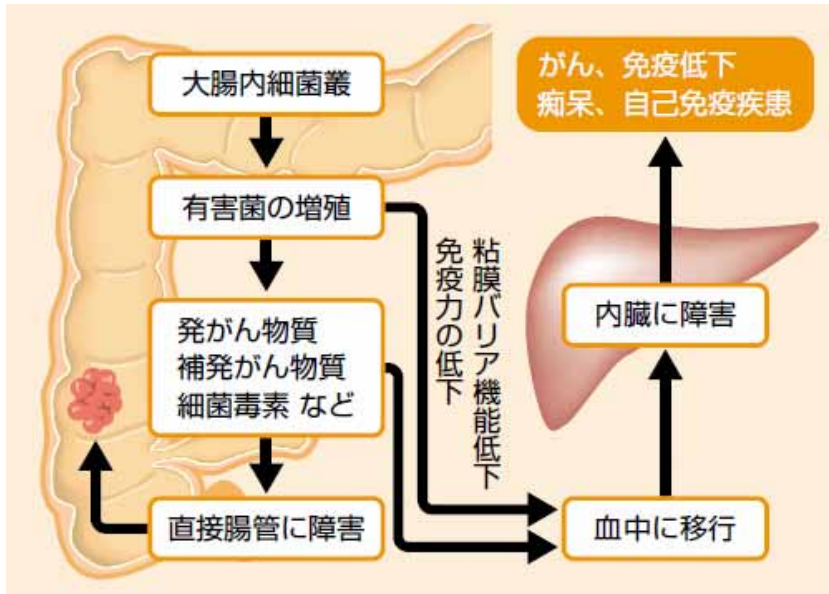
納入実績社数 約150社

利用者数 約55万人

2006年度を売上の底とするturnaroundを実現
新規事業への本格的取り組み



腸内細菌と病気の関係



RIKEN NEWS No.272 (Feb 2004)

共同研究テーマ

- ・臨床サンプルによる腸内細菌データベースの構築
- ・判定システムの構築

協同研究メンバー

- ・インフォコム(LLPメンバー) データ解析、判定システム
- ・テクノスルガ(LLPメンバー) サンプル処理プロトコル
- ・理化学研究所(共同研究契約) T-RFLP法(辨野室長)

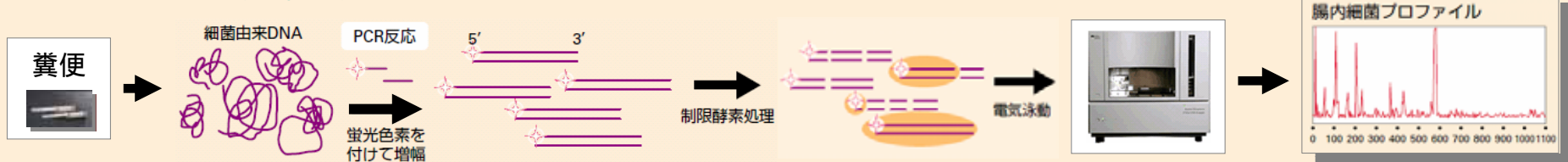
研究期間

- ・2年間(2006年10月～2008年9月)

事業への展開

- ・健康診断支援 例:腸内年齢判定、大腸がんリスク診断
- ・受託解析 例:健康食品の有効性評価

ターミナルRFLP法 : 糞便中の腸内細菌プロファイルをDNA分析を用いて解析



業績見通し等に関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

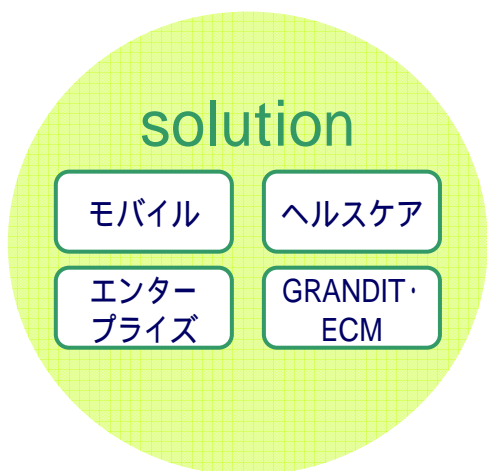
本資料に記載されている業績見通しは、平成19年4月27日に公表した弊社の「平成19年3月期 決算短信(連結)」に関する発表に基づくものです。

本資料に記載された会社名及び製品名等は該当する各社の登録商標または出願中の商標です。

インフォコムグループ 基礎情報

インフォコムグループのセグメント構成

当社の3つのセグメントで展開される多彩なソリューションやサービス。
インフォコムグループはITの進化を通じて、社会のイノベーションに貢献します。



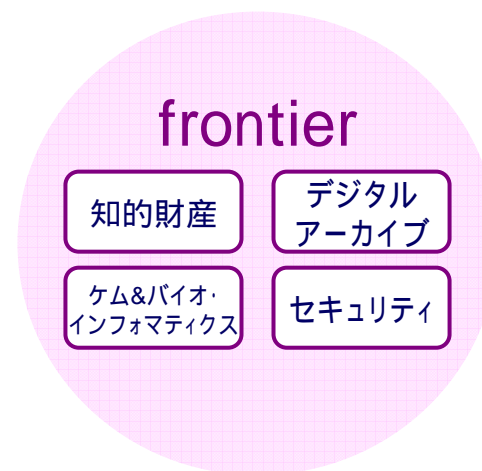
ソリューション・セグメント

携帯電話事業者向け、企業向け、医療・公共向けITサービスを始め、次世代web-ERP「GRANDIT」や携帯電話を有効利用したITサービスおよび音声関連ソリューションの提供。



サービス・セグメント

新横浜データセンターを核とした高品質かつ高信頼性を誇るデータセンターサービス「X-TATION(エクステーション)」の提供のほか、着信メロディ/着うたなどのハイクオリティで充実したコンテンツ配信サービスおよびコンサートチケットやCD/DVD、スイーツなどを販売するe-コマースサイトを展開。



フロンティア・セグメント

知的財産、デジタルアーカイブ、ケム&バイオ・インフォマティクス、セキュリティなどのソリューションやサービスの提供とこれらの事業の育成および新たに展開する事業の企画・推進。

インフォコムグループの構成



インフォコム株式会社

東京都千代田区神田駿河台3-11

携帯電話事業者、一般消費者、官公庁、教育研究機関、医薬医療関係の機関・企業、その他一般企業の顧客に対して情報システムの企画・開発・コンサルテーションなどの各種ITソリューションの提供

携帯電話などへのコンテンツ提供、情報通信システムの運用・管理などの各種サービスの提供

ソリューション

- 株式会社インフォコム西日本** ソフトウェアの開発
 山口県周南市御幸通り1-1
- インフォベック(株)** 次世代国産ERPの開発・販売
 東京都千代田区神田駿河台3-11
- イメージシティ(株)** 金融情報配信サービス、緊急連絡システム販売、ソフトウェアの開発、SIサービス
 東京都台東区池之端1-2-18
- ログイット(株)** 音声録音システムなどの販売・開発
 東京都豊島区南大塚2-25-15
- ホワイトパジャマ・ジャパン(株)** コンタクトセンターソリューションの提供
 東京都千代田区神田駿河台3-11

サービス

- インフォコムサービス(株)** 情報処理サービス
 東京都千代田区神田小川町2丁目12番
- SYSCOM(USA) Inc.(米)** ネットワークインフラSI
 1 Exchange Plaza 55 Broadway,17th Fl. New York,NY 10006
- (株)ドゥマン** 食品関連商材を中心としたe-コマース
 茨城県筑西市下岡崎2-9-1

フロンティア

- Infocom America Inc.** 市場調査、情報収集
 One Exchange Plaza 55 Broadway,17th Floor.New York,NY 10006
- フローラインフォマティクス有限責任事業組合** 腸内等の細菌プロファイリングに関する解析についての研究、及びデータベース、判定システムの開発
 東京都千代田区神田駿河台3-11

2007年5月に清算を予定しているLDS社を除く

対外発表index



ソリューション・セグメント(計21件)

06/04	IPS / ネットワークモニタ機能搭載のセキュリティプロブ「セキュアBoss」および 統合ネットワーク管理ソフトウェア「LiMS」を発売
06/05	内部統制への対応に向けたIT統制支援体制を強化
06/05	GRANDITコンソーシアムに、株式会社DACS(ダックス)が加盟
06/06	個人情報を含んでいるパソコンの紛失について
06/07	米国Contactual社と戦略的事業提携、コンタクトセンターソリューションを提供する新会社「ホワイトパジャマ・ジャパン」を設立
06/08	新感覚携帯電話Webメールサービス「00Mail」(ダブル・オー・メール)開始のお知らせ
06/08	ホワイトパジャマ・ジャパン社が提供する「Contactual 5.0J」採用のコールセンター/コンタクトセンター向けASPサービス「keepa」の最新版の提供を開始
06/09	内部統制用・統合セキュリティソフトウェア「ウチノBoss」販売開始のお知らせ
06/10	インフォバック社、「GRANDIT 内部統制コンテンツ」の提供開始
06/10	イメージシティ社が、携帯電話向けに株式情報提供サービス「1億円作る！仁科剛平の株」をスタート
06/11	内部統制支援ソフトウェア「ウチノBoss」評価版をマイクロ総合研究所製ルータ「NetGenesis SuperOPT100E」に同梱～内部統制の基盤である情報セキュリティポリシーの徹底に向けて、積極的な販売展開を図ります～
06/11	企業単体業務プロセスから連結業務プロセスまでの文書化とGRANDITの連結機能を強化 インフォバック、インプレスと内部統制支援サービス協業
06/11	イメージシティ社がYahoo!ケータイ公式サイト 株式情報提供サービス「1億円作る！仁科剛平の株」をスタート
06/12	イメージシティ社と原子力機構の共同開発による「クイックコマンダー」が特許を取得
06/12	個人情報を含むパソコンの紛失についての再発防止策に関するご報告
06/12	ログジット社が、丸紅ソリューションとかんたん・高性能・安価な全文検索機能付きメールアーカイブ専用アプライアンス「ウチノBossメール」を発売
06/12	ログジット社と米国ClickFox社が、国内初となるクロスチャネル対応の顧客行動分析ツール「ClickFox」の販売を開始
07/01	インフォコム西日本社とインフォコム四国社の合併に関するお知らせ
07/02	内部統制対応支援ソフト「MyQuick-ICM」をリリース ～日本版SOX法における統制文書の管理と評価業務支援に対応～
07/03	イメージシティ社が提供する内藤証券様向け金融情報配信サービス「Touchトレード」がMCPC AWARD 2007奨励賞を受賞
07/03	インフォバック社が運営する「GRANDITコンソーシアム」にシステムインテグレータ社が正式加盟

対外発表index



サービス・セグメント(計27件)	
06/04	「iチャンネル」向けサービス「めちゃメロ チャンネル」の開始
06/07	総合グルメ モバイルECサイト「めちゃうま」、iモード公式サイトに
06/07	全商品送料無料のCD/DVD通販サイト「STAR RECORDS」をオープン
06/07	脳トレ・クイズ・モバイルサイト「ヒマドキ」における業務提携について
06/08	携帯電話向け通販サイト「スタレコ(送料無料)」、iモード公式サイトに～全商品全国送料無料、代引き手数料無料でCD/DVDを提供～
06/08	ゴルフファンのための携帯電話向けSNS「プレイング4」の提供開始について
06/08	最新芸能ニュースを見ながらポイントがたまる「ポイント付き芸能ニュース速報」の提供開始について
06/09	EZweb向けアレンジ&カバー着うた@配信サービス「めちゃうたコモン」を開始
06/09	The GATE内にて出前・宅配・デリバリーサービスサイト「出前GATE」提供開始について
06/10	インフォコムとドゥマン社、包括的事業提携契約を締結及び、ドゥマン社が実施する第三者割当増資の一部をインフォコムが引受け
06/10	i-modeで着うた@サービス「めちゃうた@」を開始
06/11	携帯電子書籍サービス「めちゃブックス」「めちゃコミックス」を開始
06/11	The News(無料) サイト会員470万人に向けた携帯電話向けリサーチ「みんなのリサーチ」を開設
06/11	「The News(無料)」の動画コーナーに新コーナー「安倍総理のライブ・トーク官邸」がスタート!
06/12	オルゴール着信メロディ専門サイト「めちゃオルゴール」を開始
06/12	新横浜データセンター施設の一部敷地の売買契約と一部建物の移転補償契約の締結及び通期業績における特別利益に関するお知らせ
06/12	子会社の異動(譲渡)及び単体通期業績における特別損失に関するお知らせ
07/02	Yahoo!ケータイで携帯電話向け電子書籍配信サービス「めちゃブックス」をスタート
07/02	iモードで携帯電話向け電子書籍配信サービス「めちゃコミックス」をスタート
07/02	全商品送料無料のCD/DVD通販サイト「STAR RECORDS」が「Yahoo!ショッピング下半期ベストストア 新人賞」を受賞
07/02	ドゥマン社が展開するオンライングルメストア「オーガニックサイバーストア Yahoo!ショッピング店」が、「Yahoo!ショッピング2006年年間/下半期ベストストア 食品部門 カテゴリ賞」及び「Yahoo!ショッピング2006年下半期ベストストア 特別部門 カスタマーケア賞」を受賞
07/02	ドゥマン社が展開するオンライングルメストア「オーガニックサイバーストア 楽天店」が「楽天市場1月度月間MVP ショップ・オブ・ザ・マンズ PC版/ケータイ版 食品ジャンル賞」を受賞
07/02	ドゥマン社が展開するオンライングルメストア「オーガニックサイバーストア Yahoo!ショッピング店」が「Yahoo!ショッピング第4回お取り寄せグルメランキング「うまいもの王者決定戦」にて7部門受賞
07/02	情報セキュリティマネジメントシステム「ISO27001(JIS Q 27001)」の認証を取得
07/03	NTTドコモのi-mode向けにアレンジ&カバー着うた@配信サービス「めちゃうたコモン」をスタート
07/03	NTTドコモのi-mode向けにアレンジ&カバー着うた@配信サービス「めちゃうたコモン」をスタートドゥマン社がEC(e コマース)コンサルティング事業を開始
07/03	ドゥマン社が展開するオンライングルメストア「オーガニックサイバーストア 楽天店」が、楽天市場「グルメ大賞 2006 洋菓子(スイーツ)・和菓子部門 大賞」を受賞

フロンティア・セグメント(計8件)

06/07	微生物群集解析システムを製品化、販売へ
06/08	紀伊國屋書店と協業で学術情報公開ASPサービスを開始
06/09	農林水産業生産者向け知的財産権管理システムの販売を開始
06/09	トラステッドOS「PitBull® Foundation Suite」が情報セキュリティ国際評価基準で最高基準の認証を取得
06/10	セキュアOS「PitBull® Protector Plus Ver.5.0」-導入と運用の容易性を大幅に高めた新バージョン-の販売開始
06/10	インフォコムとテクノスルガ、バイオサイエンス事業での共同研究契約を締結及び有限責任事業組合(LLP)設立のお知らせ
07/02	Solaris10対応版かつ導入が容易な最高レベルのセキュリティソリューションを出荷開始 - 簡易版製品も出荷を開始 -
07/03	連結子会社の解散及び清算に関するお知らせ

コーポレート関連(計17件 他、人事異動関連8件)

06/04	平成18年3月期 決算短信(連結・個別)
06/05	平成18年3月期 決算説明会資料
06/06	有価証券報告書
06/07	平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況
06/10	平成19年3月期 中間業績予想の修正に関するお知らせ
06/10	平成19年3月期 中間決算短信(連結・個別)
06/11	平成19年3月期 中間決算短信(連結/個別)(修正)
06/11	平成19年3月期中間決算短信(連結)及び平成19年3月期個別中間財務諸表等の一部修正について
06/11	平成19年3月期 中間決算説明会資料
06/11	半期報告書
06/12	大和インベスター・リレーションズ株式会社による、この1年間でコンテンツが向上した「IRサイト」を対象とした「2006年インターネットIR・エフォート企業賞」を受賞しました。
06/12	日興アイ・アール株式会社による全上場企業のIRサイトを対象とした「2006年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング」にて「総合ランキング 優良サイト」に選定されました。
07/01	平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況(連結・個別)
07/03	平成19年3月期 配当予想の修正に関するお知らせ
07/03	平成19年3月期 通期業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ

会社の概要、社名の由来



会社の概要

商号	インフォコム株式会社
本社	東京都千代田区神田駿河台3-11
設立	1983年2月
決算月	3月
資本金	15.9億円
売上高	326億円(2007年3月期 連結決算)
社員数	1,111人(2007年3月)
上場市場	JASDAQ
銘柄コード	4348(2002年3月上場)
発行済株式	144,000株
売買単位	1株

社名の由来

1983年設立の当社は、1987年にinfocomを商号の一部に用いることとしました。情報[information]と通信[communication]が別々の概念として考えられていた当時、新たに総合的なサービスをお客様にご提供したいと考えました。



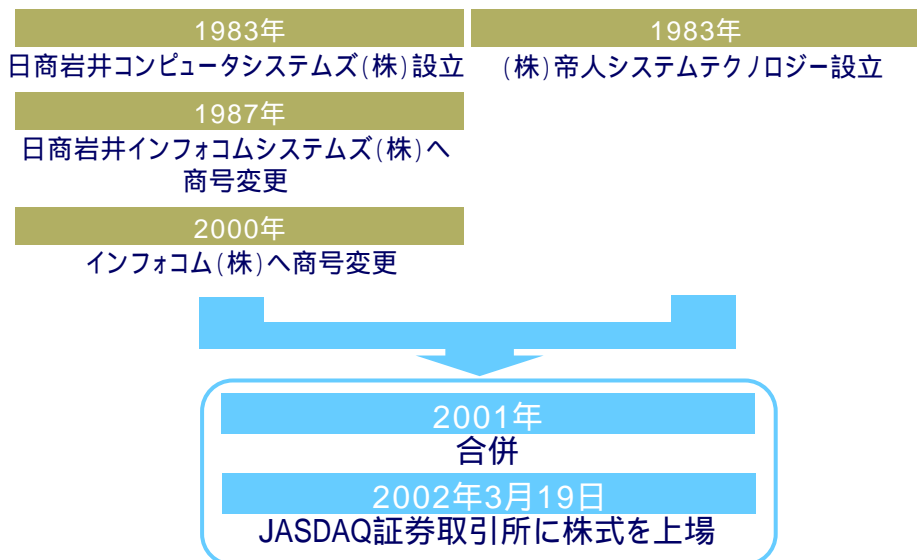
沿革、当社グループの通期及び四半期業績の特性



沿革

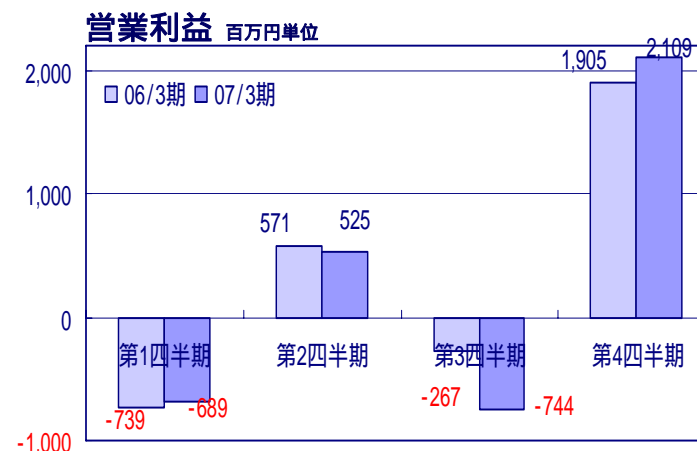
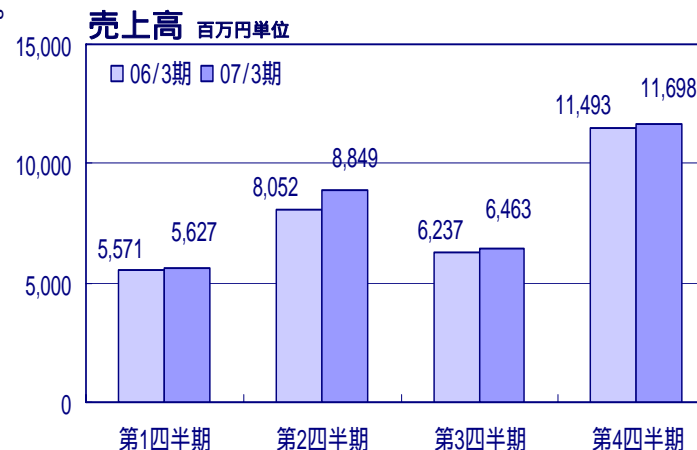
インフォコムは、1983年の設立以来、日商岩井株式会社およびそのグループ会社や、携帯電話事業者その他の一般企業などに対して、各種のITソリューションやシステム運用・コンテンツ提供などのサービスを提供してまいりました。

2001年4月に帝人株式会社の100%子会社で、ヘルスケア・ソリューション分野、電子帳票システムやナレッジマネジメントなどの自社開発ソフトウェアパッケージ製品などに特徴を有するシステムソリューションプロバイダーである株式会社帝人システムテクノロジーと、企業規模・業容の拡大、新規ビジネスによる成長加速、収益基盤の一層の強化などを目的として合併いたしました。そして、合併した同一事業年度にJASDAQ証券取引所へ株式を上場いたしました。



当社グループの通期及び四半期業績の特性

事業会計年度を4月から3月までと定めている企業が多いため、システムの導入・検収が、年度の節目となる3月に集中する傾向にあります。こうした要因と高い主契約比率により、当社グループの業績は、売上高、利益ともに第1・3四半期が相対的に少なくなり、第4四半期に集中する傾向を有しています。



連結財務データ(通期)



経営実績

(百万円)

	2003年 3月期	2004年 3月期	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期
売上高	31,892	33,146	32,164	31,353	32,637
売上高計上基準 変更後		30,087	29,867	31,353	32,637
営業利益	2,780	2,983	2,203	1,470	1,201
経常利益	2,847	3,044	2,265	1,392	1,222
当期純利益	1,582	1,632	957	531	1,596

2006年3月期より音楽コンサートチケット等の販売に関わる売上計上基準を、販売方針の転換に伴い、「取扱高」から「販売手数料」に変更しています。

財政状況

(百万円)

	2003年 3月期	2004年 3月期	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期
総資産	15,717	18,088	18,644	18,922	20,868
純資産	8,438	9,853	10,656	11,070	12,593

2006年3月期までの数値につきましては、従来の株主資本を純資産の欄に記載しています。

キャッシュフロー

(百万円)

	2003年 3月期	2004年 3月期	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期
営業活動による キャッシュフロー	2,113	923	2,591	495	1,679
投資活動による キャッシュフロー	1,338	850	1,147	3,503	188
財務活動による キャッシュフロー	608	427	248	629	263

一株あたり情報

(円)

	2003年 3月期	2004年 3月期	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期
当期純利益	21,697.00	22,450.35	6,585.04	3,635.03	11,084.53
配当	2,000	2,200	1,200	1,200	1,600

2004年9月17日をもって普通株式1株を2株の割合で分割しております。

指標

	2003年 3月期	2004年 3月期	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期
自己資本 当期純利益率 (ROE)	20.5%	17.9%	9.3%	4.9%	13.5%
自己資本比率	53.7%	54.5%	57.2%	58.5%	59.9%

自己資本は、株主資本と評価・換算差額等を合算しています。

その他

	2003年 3月期	2004年 3月期	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期
減価償却費(百万円)	741	837	727	969	1,196
従業員数(人)	796	825	871	1,098	1,111

United Innovation info@comgroup

インフォコムグループは、
ITの進化を通じて
社会のイノベーションに貢献します。